

ラオス国BOP訴求型の農林業由来バイオコークス製造 販売事業準備調査(BOPビジネス連携促進)

井田 民男・原口 直人・村田 博敏・野村 恭子

Tamio Ida, Naoto Haraguchi, Hirotoshi Murata, Yasuko Nomura

(1) プロジェクトの概要



対象国：
ラオス人民民主共和国

マイチュー



廃材



黒炭



一般廃棄物



すべての植物(バイオマス)から形成可能



直径10cm 加熱温度180°C-20分, 加圧力20MPa

(2) プロジェクト等の実施体制

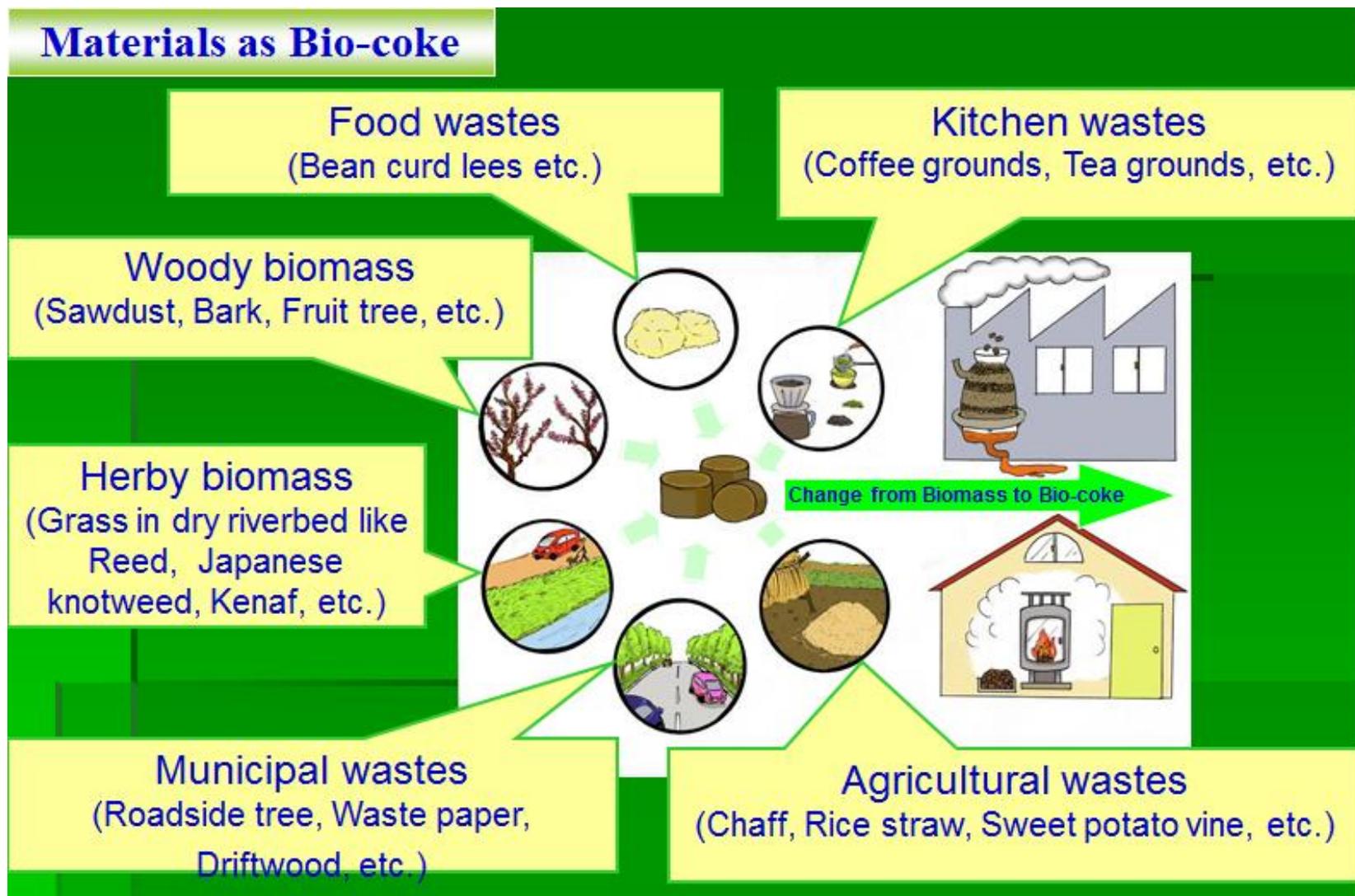
代表法人名： 王子グリーンリソース株式会社

構成法人名： 株式会社あらたサステナビリティ認証機構

株式会社ナニワ炉機研究所

応援団： 学校法人 近畿大学

(3) 活用される大学の人材・技術等



Possible to use biomass based on photosynthesis as materials

What is Biocoke?

Position of Conversion Technology

No Carbonization Technology

100% Yield of Weight (From 10kg to 10kg)

Physical property

Specific Gravity 1.3-1.4 (Close True Value)

Material Engineering Property

Compressive Strength 40—200MPa

Activity of Biocoke

Alternative Coal Coke 20-70%



(4) 参画することによる大学への裨益

1. バイオコークスのエネルギー的な位置づけ

石炭コークス/重油等の液体燃料代替燃料

持続可能かつ再生可能なエネルギー資源

国産エネルギーの創出(H23年度新エネ大賞)

2. バイオコークスによる地球規模環境への貢献

二酸化炭素の実質的な削減による地球温暖化抑制
(H24年度地球温暖化防止活動環境大臣賞)

硫黄酸化物の実質的な削減による酸性雨の抑制

森林資源の保全と健全化

(5) 今後の展望

バイオコークス、教育、資源創出、公衆衛生

バイオマスと人材は、ASEANとブラジル等に大量に存在

【国際的なバイオコークスネットワークの構築へ】

ASEAN、BZ等でのバイオコークス活用を促進

ASEAN、BZ等から日本へのバイオコークスの輸入

【海外の人材育成へ】

ASEAN、BZ等からの学生を教育し、母国のバイオマスを活かした研究活動を教育促進し、帰国後の活動を支援し、ネットワークを構築